

第5章 重点プロジェクト

低い労働生産性や高い労働災害発生率などの林業特有の課題の解決や木材の生産・加工・流通における効率化、県産材の需要拡大を図るとともに、それらを支える多様な人材の確保・育成を目指すため、各基本方向の横断的かつ重点的な取組として着手すべき3つのプロジェクトに取り組むこととします。

林業イノベーションプロジェクト

再造林の効率化・省力化

- 伐採と造林の一貫作業の定着
- エリートツリー等の植栽や防草シートなどを活用した省力化の推進
- 植栽、下刈り等における省力化機械の実証及び導入支援
- 再生利用が困難な荒廃農地等を活用した早生樹等による収益性の高い林業の実証

スマート林業の推進

- 森林情報クラウドシステムの構築やICT等を活用した効率的な森林経営
- 需給情報を原木生産に活かすネットワークの構築
- 伐採、集材作業の遠隔化やICT技術等を活用した作業システムの実証

木材産業サプライチェーン構築プロジェクト

木材の生産・加工・流通改革

- 大径材にも対応した高性能林業機械の導入や輸送車両の大型化
- 輸送車両の大型化に対応する林道の改良や土場等の計画的な整備
- 大径材の利用促進及び乾燥材の生産拡大
- 川上から川下までの情報を共有できるサプライチェーンの構築

新たな木材需要の開拓

- 都市部の自治体や企業等の連携による新たな製品開発
- 非住宅分野やリフォーム・リノベーションにおける木材の利用促進
- 住宅分野における県産スギ材が使われていない部材への利用促進
- 高度な加工技術を活かした製品輸出の拡大

担い手確保・育成プロジェクト

多様な担い手の確保・育成

- 幼少期からの「森林環境教育」や「木育」の推進
- 異業種や都市部等からの林業・木材産業への就業促進
- 林業大学校の研修体制の強化による人材育成
- 所得の確保や労働安全衛生の向上による就労環境の改善



第1章

計画策定にあたって

第2章

森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第3章

計画の目標と施策の基本方向

第4章

基本計画

第5章

重点プロジェクト

第6章

地域計画

第7章

計画の実現に向けて

資料編



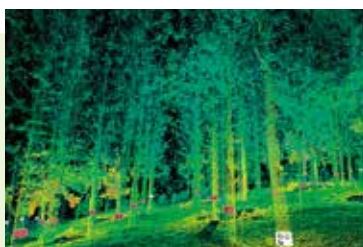
伐採と造林の一貫作業



造林用機械による下刈り実証試験



ドローンを活用した森林調査



地上レーザ調査 (3D画像)



大型車両に対応した林道等の改良



効率的な乾燥材の生産



非住宅分野における木材利用



製品輸出の拡大



幼少期からの「木育」



みやざき林業大学校における人材育成

安全で効率的な林業

効率的な生産・加工・流通

県産材の需要拡大

持続可能な林業・木材産業の確立

イノベーションを支える人材育成

第5章 重点プロジェクト

重点1 林業イノベーションプロジェクト

森林所有者や境界の不明な森林の増加、厳しい地形条件等による低い労働生産性や高い労働災害発生率など林業特有の課題に加え、人口減少、少子高齢化などの社会的課題に対処していくため、造林から伐採・搬出に至る作業の省力化・軽労化を図り、生産性の向上や技術革新及び新たな概念を導入する林業イノベーションを進めます。

再造林の効率化・省力化

- 関係機関と連携を図りながらエリートツリーの生産を促進するとともに、コンテナ苗等の生産施設の整備を支援し、優良苗木の安定供給体制の構築を図ります。
- 素材生産事業体と森林組合等との伐採情報の共有化を促進するとともに、伐採と再造林の「一貫作業システム」の定着を図ります。
- コンテナ苗や大苗等を活用した低密度植栽を導入するとともに、これに対応した間伐等の新たな施業体系や造林用機械による下刈りの導入を見据えた植栽間隔の見直しを進めます。
- 初期成長に優れたエリートツリーや早生樹の導入、夏場を避けた時期の下刈りの実施や防草シートの活用など、作業の省力化や軽労化に向けた技術の実証や導入を進めます。
- 地拵えや植栽、下刈り等の作業における新たな省力化機械の実証や導入への支援などにより、労働環境の改善を推進します。
- 再生利用が困難な荒廃農地等を活用した早生樹の植栽やエリートツリーの母樹園の造成等、収益性の高い林業の実証やモデル林の整備等を推進します。

スマート林業の推進

- 森林情報管理の基盤となる森林クラウドシステムの構築により森林GISへのアクセス性を向上し、市町村や森林組合等との連携によりデータの適時更新などの資源管理の合理化を図ります。
- レーザ計測(立木、地形、所有境界等)による森林資源量等の把握や解析データを路網整備や森林整備等に利活用する取組を推進します。
- 地形情報や森林資源情報等を集積し、ICTを活用した新たな生産管理の導入に向け、実践的な取組を推進します。
- 木材需要に柔軟に対応するため、山元から製材等までの情報・流通ネットワークの構築を推進します。
- 伐採、集材、造林などそれぞれの作業に応じた機械化を目指し、伐採・集材作業の遠隔化など、先進的な取組を推進します。
- GISやICT等を搭載した機械を活用した新たな作業システムの実証など、次世代技術の導入に向けた取組を推進します。



工程表

	施策展開	年度				
		3	4	5	6	7
重点1 林業イノベーションプロジェクト	1 再造林の効率化・省力化					
	● エリートツリーの生産促進及びコンテナ苗等の生産施設の整備支援による優良苗木の安定供給体制の構築					
	● 素材生産事業体と森林組合等との伐採情報の共有化と伐採と再造林の「一貫作業システム」の定着					
	● コンテナ苗や大苗等を活用した低密度植栽の導入及び、これに対応した間伐等の新たな施業体系や造林用機械による下刈りの導入を見据えた植栽間隔の見直し					
	● エリートツリーや早生樹の導入、夏場を避けた時期の下刈りの実施、防草シートの活用など、作業の省力化や軽労化に向けた実証					
	● 地拵えや植栽、下刈り等の作業における新たな省力化機械の実証や導入支援					
	● 再生利用が困難な荒廃農地等を活用した早生樹の植栽やエリートツリーの母樹園の造成、モデル林の整備					
	2 スマート林業の推進					
	● 森林情報管理の基盤となる森林クラウドシステムの構築					
	● レーザ計測による森林資源量等の把握や解析データを路網整備や森林整備等に利活用する取組の推進					
	● 地形情報や森林資源情報等を集積し、ICTを活用した新たな生産管理の導入					
	● 木材需要に柔軟に対応するため、山元から製材等までの情報・流通ネットワークの構築					
	● 伐採、集材、造林など様々な作業の機械化に向けた先進的な取組の推進					
	● GISやICT等を搭載した機械を活用した新たな作業システムの実証等					

第1章

計画策定にあたって

第2章

森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第3章

計画の目標と施策の基本方向

第4章

基本計画

第5章

重点プロジェクト

第6章

地域計画

第7章

計画の実現に向けて

資料編

第5章 重点プロジェクト

重点2 木材産業サプライチェーン構築プロジェクト

木材産業の生産性の向上と効率化を図るため、林道網の拡充や輸送車両の大型化の促進などの生産基盤の充実と大径材の利用促進、乾燥材の生産拡大、川上から川下までの情報を共有するサプライチェーンを構築します。

また、県産材の需要拡大を図るため、都市部の企業等との連携やニーズに応えた新たな製品開発や非住宅分野等における木材の利用を促進するとともに、より付加価値の高い製品の輸出拡大に向けた取組を推進します。

木材の生産・加工・流通改革

(1) 効率的な生産基盤の整備

- 大径材にも対応した高性能林業機械の導入や輸送車両の大型化を促進し、生産・流通の効率化を図ります。
- 輸送車両の大型化に対応するため、幹線となる林道の改良や改築、土場・作業ポイントを計画的に整備します。

(2) 安定的な製品供給体制の構築

- 大径材の利用価値を高めるため、心去りによる木取りや乾燥方法の開発など、製材加工技術の向上を図ります。
- 乾燥材需要の高まりに対応するため、人工乾燥機の導入や天然乾燥土場の整備、製材品をストックする保管庫の設置等を推進します。
- 建築分野におけるパネル化等への移行に対応するため、生産ラインの改善やICT化を進め、製材工場やプレカット工場等の連携を推進します。
- 川上から川下までの情報を共有できるサプライチェーンを構築し、需要者ニーズに応えるマーケットイン型等の製品流通体制づくりを推進します。

新たな木材需要の開拓

- 木材産地としての魅力を含めた県産材のプロモーション活動などを通じて、選ばれる産地づくりを目指すとともに、都市部の自治体や企業等との連携及びニーズに応じた製品開発を推進します。
- リフォームやリノベーション市場等のニーズを捉えた製品や構法等の開発を支援するとともに、工務店等の連携を図り、内装材等の木材利用を促進します。
- 住宅分野等における県産スギ材が使われていない部材の活用など、新たな需要の創出を目指し、利活用技術や製品の開発、販路開拓などに取り組みます。
- 非住宅分野等における木材利用の促進に向けて、JAS製品や森林認証材の流通拡大を推進します。
- 本県の高度な木材加工技術を活かしたより付加価値の高い製品の輸出拡大に向けた取組を推進します。



工程表

	施策展開	年度				
		3	4	5	6	7
重点2 木材産業サプライチェーン構築プロジェクト	1 木材の生産・加工・流通改革					
	(1) 効率的な生産基盤の整備					
	● 大径材にも対応した高性能林業機械の導入、輸送車両の大型化					
	● 輸送車両の大型化に対応した幹線となる林道の改良や改築、土場、作業ポイントの整備					
	(2) 安定的な製品供給体制の構築					
	● 大径材の利用価値を高めるための乾燥方法や製材加工技術の向上					
	● 人工乾燥機の導入や天然乾燥土場の整備、製材品をストックする保管庫の設置等の推進					
	● 建築分野におけるパネル化等への移行に対応した生産ラインの改善やICT化、製材工場やプレカット工場等の連携推進					
	● 川上から川下までの情報を共有できるサプライチェーンの構築による製品流通体制づくりの推進					
	2 新たな木材需要の開拓					
	● 木材産地としての魅力を含めた選ばれる産地づくりと、都市部の自治体や企業等との連携及び製品開発の推進					
	● リフォームやリノベーション市場等のニーズを捉えた製品や構法等の開発支援、工務店等の連携による内装材等の木材利用の促進					
	● 住宅分野等における県産スギ材が使われていない部材の活用に向けた利活用技術や製品開発、販路開拓					
	● 非住宅分野等における木材利用の促進に向けたJAS製品や森林認証材の流通拡大					
	● 本県の高度な木材加工技術を活かしたより付加価値の高い製品の輸出拡大に向けた取組の推進					

第1章

計画策定にあたって

第2章

森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第3章

計画の目標と施策の基本方向

第4章

基本計画

第5章

重点プロジェクト

第6章

地域計画

第7章

計画の実現に向けて

資料編

第5章 重点プロジェクト

重点3 担い手確保・育成プロジェクト

人口減少社会の到来による労働者不足に対応するため、幼少期から「森林環境教育」や「木育」を推進するとともに、林業・木材産業の魅力発信等による就業者の確保や「みやざき林業大学校」における人材の育成に努めます。

また、安定的な所得の確保や社会保障の充実及び労働安全衛生の向上等により、就労環境を改善し、就業者の確保・定着を図ります。

多様な担い手の確保・育成

(1) 人材の確保・育成

- 幼少期から「森林環境教育」や「木育」を推進し、県民の森林・林業に対する理解を深めます。
- 林業・木材産業の魅力発信や学校等へのリクルートブックの配布等により、新規就業者の募集強化に努めます。
- SNSの活用により、新規就業者の就業のきっかけやライフスタイルなどを発信し、林業・木材産業を身近に感じてもらうことで若者の就業を推進します。
- イノベーションなどに取り組み、異業種や都市部等からの林業・木材産業への就業を促進します。
- 外国人技能実習制度を通じた林業への外国人材の受入れ等について、中央団体や他県の動きを注視しながら、県内団体の意見も踏まえ適切に対応します。
- みやざき林業大学校のカリキュラムの充実や研修環境の整備等による体制強化、サポートチームとの連携による高度な知識や技術力を備えた人材の育成に努めます。

(2) 就労環境の改善等

- 通年雇用や月給制の導入等により就業者の安定的な収入を確保するとともに、社会保障や福利厚生の実施を図り働きやすい就労環境づくりを推進します。
- 高性能林業機械の導入や安全装備品の着用徹底により、労働安全衛生の向上を図ります。





工程表

	施策展開	年度				
		3	4	5	6	7
重点3 担い手確保・育成プロジェクト	1 多様な担い手の確保・育成					
	(1) 人材の確保・育成					
	● 幼少期からの「森林環境教育」や「木育」の推進					
	● 林業・木材産業の魅力発信や学校等へのリクルートブックの配布等による新規就業者の募集強化					
	● SNSの活用による、新規就業者の就業のきっかけやライフスタイルなどの発信					
	● イノベーションなどによる異業種や都市部等からの林業・木材産業への就業促進					
	● 外国人技能実習制度を通じた林業への外国人材の受け入れ等についての対応					
	● みやざき林業大学校のカリキュラムの充実や研修環境の整備等による体制強化、サポートチームとの連携による高度な知識や技術力を備えた人材育成					
	(2) 就労環境の改善等					
	● 通年雇用や月給制の導入等による就業者の安定的な収入確保、社会保障や福利厚生充実による働きやすい就労環境づくりの推進					
	● 高性能林業機械の導入や安全装備品の着用徹底による労働安全衛生の向上					



第1章

計画策定にあたって

第2章

森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第3章

計画の目標と施策の基本方向

第4章

基本計画

第5章

重点プロジェクト

第6章

地域計画

第7章

計画の実現に向けて

資料編